

春がきた・・・心もぽっかぽか



大切にしているのは・・・

その子は新しく通学班長になりました。誠実に日々の生活をおくっています。毎朝のあいさつもとてもさわやかです。最後の地区児童会后、6年生から班長旗を譲り受けたその日から、少しの不安を抱えながらも張り切って班長をしています。自宅では、班長旗入れを作って大切に保管をしていると耳にしました。すばらしいですね。きっと前の班長もそのような責任感のある6年生だったのでしょう。こうしたことが伝統となって受け継がれていってほしいです。そして、このような生き方をする子をみんなで応援したいです。

その子が大切にしているものは、きっと班長旗だけではなく・・・。



桜と桜の間にそっと一輪(体育館西)

この話を耳にした朝。それまでばらばらだったある地区の少人数の班がそろって並んで登校していました。新しい班長の力です。これも、次に伝えたい姿でした。

Thank you for teaching us

English for 2years.

6年2組マーニー先生との最後の授業前、一人の児童が職員室へやってきました。英語の1番堪能な先生の所へ行き、何やら尋ねています。クラス全員でマーニー先生に伝えたかった思い、それが上の言葉だったようです。節目を大切にしてきた子どもたちの正に真骨頂。あたたかい心はマーニー先生に届いたにちがいありません。

えっ、ない？

インフルエンザが猛威をふるっていたある日の夕方、欠席していた児童の保護者の方が児童の荷物を取りに来られました。職員が対応すると、置いてあるはずの荷物が教室のどこを探しても見当たりません。

確かにまとめて置いていたはずなのに・・・。

実は、同じ通学班の子が気を利かせて持って帰ってくれていたのです。先生に頼まれたわけでもないのに自分で考えて、手さげ袋いっぱい荷物を持って長い道のりを歩いてくれました。ありがとう!!



高学年がするのが

当たり前？！

いえいえ、そのようなことはありません。気付いた人が動けばできることもあります。1人で無理なら仲間を呼んで。

3月7日(月)この日の児童朝礼も落ち着いた雰囲気の中で行われました。朝礼前には台を中央に運ばなければなりません。最初に3年生が2人手を貸してくれました。しかし、びくともしません。周りに声をかけると2年生の男子数名が「俺もやる！」といって台に手をかけました。するとどうでしょう、あの重い朝礼台が持ち上がりました。子どもたちは、必死の形相でしたが運び終わるとにっこり。「ありがとう」で始まる気持ちのよい朝でした。

困った様子を見てすぐに動くことも、素直に動くことができる学校の雰囲気も、ずっと大切にしたいものです。